

平成28年3月14日
京阪電気鉄道株式会社

京阪間の交通の要衝・淀に、環境に配慮した内陸型物流施設

**「京阪淀ロジスティクスヤード」が
平成28年4月1日（金）に全面開業します**

- 京都市伏見区・淀に内陸型物流施設が開業。
- 立地は名神高速道路、京滋バイパス、京都縦貫自動車道の大山崎ICより約1.5kmと近畿圏でも有数の交通の要衝。
- 太陽光発電設備や災害ボランティアセンターなども設置した環境・社会配慮型の物流施設。

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区、社長：加藤好文）は、淀車庫拡張用地（京都市伏見区淀美豆町）を転用し、近年社会的ニーズが高まっている内陸型物流施設として「京阪淀ロジスティクスヤード」の建設を進めていましたが、平成28年4月1日（金）に全面開業します。

近畿圏において大型物流施設の多くが大阪湾岸地域に集中する中、京阪間の内陸に位置する同施設は、名神高速道路、京滋バイパス、京都縦貫自動車道の大山崎ICより約1.5kmと交通至便の地にあり、物流施設としては、近畿圏でも有数の交通の要衝に立地しています。さらに、今後、新名神高速道路が開通すれば、ますますその利便性は高まると考えられ、近畿圏の物流拠点としての需要に十分応えられる環境にあります。

京阪淀ロジスティクスヤードは、A棟、B棟、C棟の3棟からなり、A棟には株式会社つばめ急便、B・C棟には日本通運株式会社がテナントとして入ります。また、太陽光パネルや災害ボランティアセンターの設置、建物南側への緑地帯の配置など、環境や社会に配慮した施設となっていることが評価され、株式会社日本政策投資銀行より「極めて優れた『環境・社会への配慮』がなされたビル」として「DBJ Green Building認証」を取得いたしました。

詳細は別紙のとおりです。

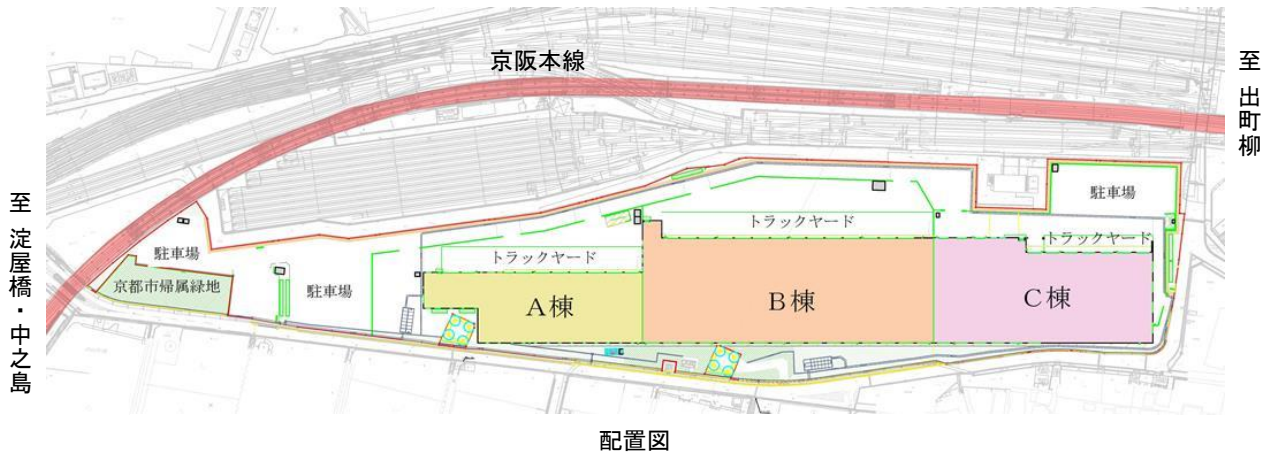


京阪淀ロジスティクスヤード（外観）

(別紙)

1. 施設の概要

名 称：京阪淀ロジスティクスヤード
建 設 地：京都市伏見区淀美豆町555-1他
用途地域：準工業地域
敷地面積：約52,900㎡
建物用途：倉庫業を含む倉庫(A、B、Cの3棟)
階 数：地上2階、一部平屋建て
建築面積：約27,000㎡
延床面積：約43,000㎡
テナント：A棟 株式会社つばめ急便
B・C棟 日本通運株式会社



2. 太陽光発電設備の概要

京阪淀ロジスティクスヤードの屋上部分に太陽光発電設備を設置。

パネル数：約5,000枚(A、B棟屋上に設置)

発電容量：約1,250kW

年間発電量：約120万kWh(20年平均、一般家庭約320世帯分)



太陽光パネル

3. DBJ Green Building認証

京阪淀ロジスティクスヤードは、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）によるDBJ Green Building認証を、平成28年2月29日（月）に取得いたしました。

DBJ Green Building認証とは、環境・社会への配慮がなされた不動産（「Green Building」）を支援するために、平成23年4月にDBJが創設した認証制度です。

今回の認証では、以下の点を評価していただきました。

- (1) 共用部・倉庫部分の全てにLED照明を設置しているほか、倉庫屋根上への太陽光発電パネルを設置する等、創エネ・省エネを通じて環境配慮を推進している点
- (2) 一般帰宅困難者の受入体制構築の一環として、非常時における携帯電話への充電が可能な太陽光発電装置を設置している点
- (3) 京都市伏見区社会福祉協議会と災害ボランティアセンターの協定書を締結し、災害時の防災拠点として活用可能である点
- (4) 建物南側への緑地帯の配置を実施するなど、周辺環境に配慮した取り組みを行っている点

その結果、「極めて優れた『環境・社会への配慮』がなされたビル」として認証を取得いたしました。

DBJ Green Building認証制度の詳細については、以下サイト（下記URL）をご覧ください。

http://www.dbj.jp/service/finance/g_building/



DBJ Green Building 認証 表彰楯（イメージ）

4. 位置図



以上